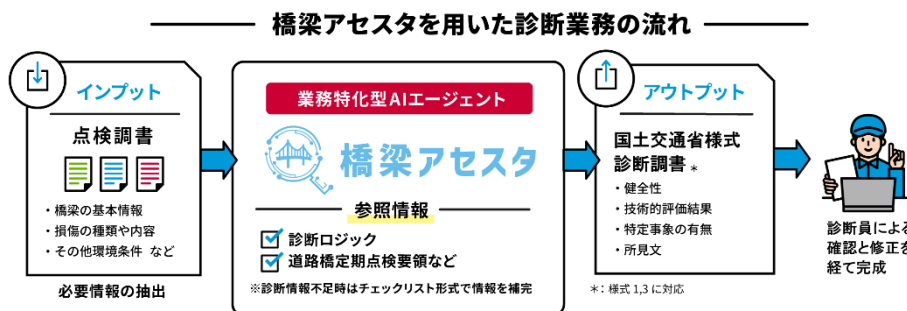


2026年4月23日  
NTTドコモソリューションズ株式会社  
株式会社 NTTドコモ  
NTTドコモビジネス株式会社  
株式会社溝田設計事務所

## 橋梁診断支援 AI「橋梁アセスタ」を開発し、販売を開始 ～AI エージェントで橋梁診断業務を最大 80%省力化～

NTTドコモソリューションズ株式会社（旧 NTTコムウェア株式会社 以下、NTTドコモソリューションズ）、株式会社 NTTドコモ（以下、NTTドコモ）、株式会社溝田設計事務所（以下、溝田設計事務所）の3社は、国立大学法人長崎大学の監修のもと、橋梁診断支援サービス「橋梁アセスタ<sup>TM</sup>」（以下、本サービス）を共同で開発しました。本サービスは、橋梁の点検票をインプットすると、国土交通省が定める制度・要領等に準拠した様式で診断調書案を自動生成する新たな業務特化型 AI エージェントです。本日から NTTドコモビジネス株式会社（旧 NTTコミュニケーションズ株式会社 以下、NTTドコモビジネス）が販売を開始します。

本サービスは、生成 AI 技術と RAG（Retrieval-Augmented Generation）を活用した橋梁診断業務向けのシステムです。従来の RAG のようにマニュアルを検索するだけでなく、熟練技術者の暗黙知を言語化した独自の「診断ロジック」を参照情報として組み込むことで、橋梁点検・診断業務における技術者不足などの課題を解決し、診断品質の均質化を実現します。また、自治体ごとに異なるさまざまな様式の点検票をそのまま読み取り、国土交通省が定める制度・要領等に準拠した様式で診断調書案を自動生成することが可能となっており、診断業務にかかる作業時間を最大 80%削減<sup>\*1</sup>します。



### 本サービスの概要（イメージ）

#### ■背景

全国に約 73 万橋ある橋梁のうち、建設後 50 年以上が経過した橋梁は、2024 年度の約 42%か

ら 2029 年度には約 54%へと増加する見込みです。5 年ごとの定期点検では年間約 15 万橋の診断が必要となります。<sup>※2</sup>

一方、橋梁診断業務には高度な専門知識と経験が求められるため、技術者不足、業務負担の増大、技術継承の難しさが大きな問題となっています。これらの問題を解決するため、3 社（NTT ドコモソリューションズ、NTT ドコモ、溝田設計事務所）は国立大学法人長崎大学大学院総合生産科学研究科（山口浩平准教授）と共同で、生成 AI 技術と橋梁メンテナンスの専門知見を融合し、診断業務の効率化と品質向上、次世代技術者への技術継承を支援する本サービスを開発しました。

## ■ サービス概要

### 1. 特長

本サービスの主な特長は以下 4 点です。

- 自治体ごとに異なるさまざまな様式の点検票をそのまま読み取り可能
- 診断に必要な情報が不足している場合は、チェックリスト形式で確認
- 熟練技術者の暗黙知を言語化した診断ロジックに基づく診断調書案（定量評価）を生成
- インプット情報に基づいた診断調書案（所見文）を国土交通省が定める制度・要領等に準拠した様式で生成

2025 年 12 月から 2026 年 3 月に複数の自治体や建設コンサルタントと実施した実運用検証において、本サービスを活用することで、診断業務にかかる作業時間を最大 80%削減できることを確認しました。また、経験の浅い技術者でも AI の提示する診断調書案と根拠を確認しながら業務を遂行できる点も評価されています。

### 2. 料金

対象範囲や橋梁種類により個別見積りとなります。下記までお問い合わせください。

サービスに関するお問い合わせ先 [bridge-sales@ntt.com](mailto:bridge-sales@ntt.com)

### 3. 販売開始日

2026 年 4 月 23 日

### 4. 商品 Web サイト

<https://www.nttcom.co.jp/smtech/sdf/#traffic>

## ■ 各社の役割

NTT ドコモソリューションズ	橋梁アセスタのサービス企画・システム開発・運用
NTT ドコモ	橋梁アセスタの AI エージェント技術開発

NTT ドコモビジネス	橋梁アセスタの販売
溝田設計事務所	橋梁メンテナンスの知見提供、診断ノウハウ提供、販売代理

今後 4 社は、橋梁の定期点検業務を実施する建設コンサルタントや民間橋梁管理者を中心に本サービスを展開し、持続的なインフラ維持管理の実現に貢献します。

※1 2025 年 12 月から 2026 年 3 月に自治体や建設コンサルタントと実施した実運用検証結果に基づくものです。利用環境や条件により業務時間削減効果は異なります。

※2 国土交通省「社会資本の老朽化の現状と将来」

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/02research/02\\_01.html](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/maintenance/02research/02_01.html)

\* 「橋梁アセスタ」の名称・アイコンは NTT ドコモソリューションズ株式会社が商標出願中です。

## 「橋梁アセスタ」サービス詳細

### 1. 概要

生成 AI 技術と RAG (Retrieval-Augmented Generation) を活用し、橋梁診断業務において国土交通省が定める制度・要領等に準拠した様式の診断調書への定量評価（技術的な評価結果・健全性評価等）や所見作成などを支援する SaaS 型サービスです。Web ブラウザから利用可能です。

### 2. サービスの特長

#### (1) さまざまな様式の点検票を読み取り可能

自治体ごとに形式の異なる点検票をそのまま読み取り可能です。

#### (2) 不足情報を対話形式で確認

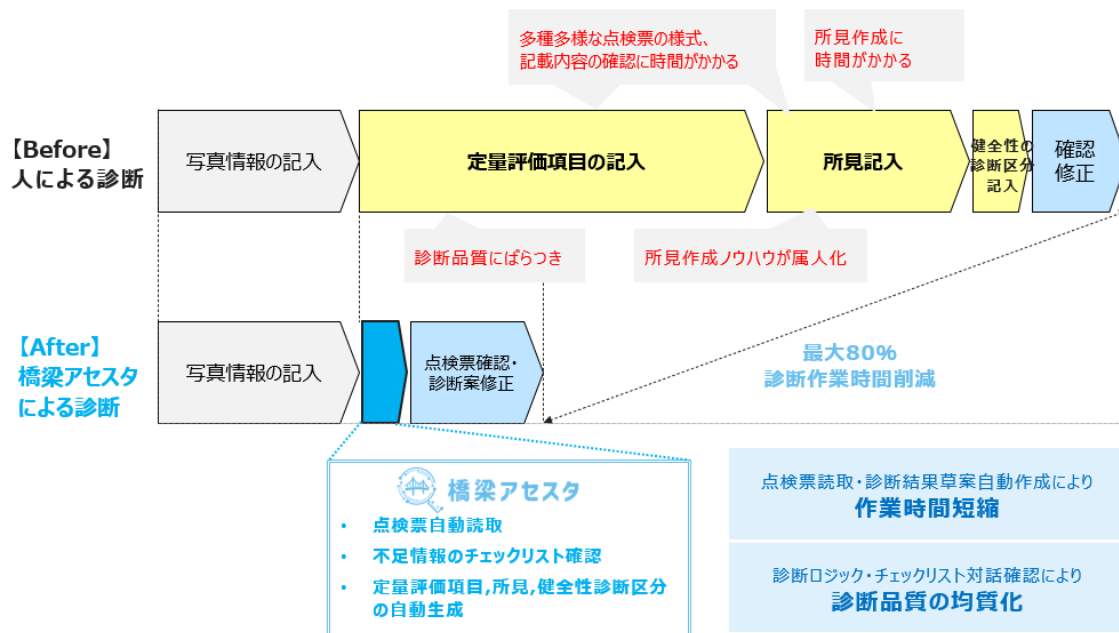
点検票から診断に必要な情報が十分に読み取れない場合には、生成 AI が不明点や不足情報を整理し、チェックリスト形式で診断員に確認を行った上で診断調書案を生成します。情報が不足したまま診断業務を進めることを防ぎ、現場実務に即した、より精度の高い診断業務支援が可能です。

#### (3) 診断品質の均質化を実現

生成 AI 技術と RAG を活用し、国土交通省が定める点検要領や診断マニュアル、熟練技術者の暗黙知を言語化した独自の「診断ロジック」を参照しながら診断調書案を生成します。国土交通省が定める制度・要領等に沿った診断が可能になり、橋梁診断業務における診断品質の均質化を実現します。

#### (4) 診断業務の効率化を実現

点検票を読み取りテキストデータとして抽出し、国土交通省が定める制度・要領等に準拠した様式で診断調書案（所見文）を自動生成することが可能です。複数の自治体や建設コンサルタントとの実運用検証において、橋梁アセスタを活用することで、診断業務にかかる作業時間を最大 80%削減できることを確認しました。



橋梁診断業務の課題と解決（イメージ）